

海外安全対策情報（平成29年度第1四半期）

1 社会・治安情勢

（1）テロ関連動向（インドネシア国内情勢）

5月24日、ジャカルタ首都特別州東ジャカルタ市のバスターミナルにおいて警察官及び実行犯5名が死亡、民間人を含む10名が負傷する自爆テロが発生しました。

また、6月25日には、北スマトラ州警察本部内において警察官が刺殺される事件、6月30日には、ジャカルタ首都特別州南ジャカルタ市の国家警察本部に隣接するモスクにおいて警察官2名が刺傷される事件と、いずれも警察を狙ったとみられるテロ事件が続発しており、国家警察はインドネシア全土において数十名に及ぶ容疑者を逮捕するなどテロの疑いがある動きに対して厳重な警戒態勢を敷いています。

現時点においては、当地において具体的なテロの情報はありませんが、引き続き最新の治安情勢等の関連情報を入手し、日頃から危機管理意識を高く持つよう努め、特にテロの標的となりやすい場所（政府・警察関係施設、宗教関連施設、ナイトクラブなど多くの欧米人が集まる場所、ショッピングモール等不特定多数が集まる場所等）を訪れる際は、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる等、安全確保に十分注意を払ってください。

（2）デング熱

当地保険当局によれば、バリ島内におけるデング熱罹患患者数は高い数字で推移しており、流行が継続しているため注意が必要です。

防蚊対策を徹底するなどしてデング熱の予防に努めてください。また、仮にデング熱が疑われる症状が発生した場合は、早期に医療機関を受診し、適切な治療を受けるようにしてください。

（3）麻薬・薬物への注意

インドネシア当局は、引き続き薬物犯罪の摘発を強化しており、バリにおいても逮捕事案が続いています。薬物には絶対に関与しないようにして下さい。また、薬物が使用されているような危険な場所には近寄らないようにしてください。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（1）犯罪傾向

観光客が多く集まるクタ・レギャン地区を中心に、外国人旅行者を狙った「ひったくり」「集団スリ」といった盗難被害が引き続き発生しています。

特に、深夜・早朝時間帯には、レギャン通り（爆弾テロ追悼モニュメント近く）

のナイトクラブからホテルへ帰る旅行者（グループ、カップル、男女を問わず）が、徒歩で通行中にひったくりの被害に遭ったり、集団の犯人に取り囲まれて話をしている隙にスリの被害に遭うケースが継続して発生しています。

また、上記エリア以外でもバイク使用の犯人によるひったくりが頻発していますので、このような被害に遭わないためにも、所持品の管理に注意し、徒歩での移動の場合には周囲の状況に十分警戒してください。

（２）邦人被害事案

邦人に対する一般犯罪の事例については、月ごとに安全対策情報として総領事館ホームページに掲載しています。

3 テロ・爆弾事件発生状況

当館館内においてテロ・爆弾事件は発生していません。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人被害の誘拐・脅迫事件は発生していません。

5 対日感情

対日感情は基本的に良好であり、特段の変化は見られません。

6 日本企業の安全に関わる諸問題

日系企業の安全に関わる問題は認知していません。

以上